

当日の主なやりとり			備考 (補足説明など)
	市民の発言	市長の発言	
1	8月17日(土) 大原集会所	<p>全国でPark-PFIという手法による公園の再整備が行われており気になっています。民間事業者が公園の再整備費用を一部負担する代わりに規制緩和され、公園内に商業施設を作るために木が多く伐採されているようで、今後、芦屋もそういった手法で木が伐採されていくのではないかと危惧しています。このPark-PFIは市議会の承認を得ずに決定されるということも気になっています。芦屋川も特別景観地区になっていますが、さりげなく規制緩和され、自然が守れないのではないかと危機感を持っています。</p>	
2	8月17日(土) 大原集会所	<p>県の方で、「県民まちなみ緑化事業」というものがあり、緑化をする住民団体への支援が行われているのですが、その結果、JR芦屋駅の周りにプランターがたくさん増えています。少し過剰な気がしてまして、景観のデザイン専門家がいないのではないかと考えています。</p>	
3	8月17日(土) 大原集会所	<p>街路樹の剪定について、他市の事例ですが、剪定した樹木を樹木医などの専門家が見せたところ、剪定の必要はなかったということが、市民団体が調査して分かったそうです。芦屋市では、街路樹の剪定についてはどのように行われているのでしょうか。</p>	
4	8月17日(土) 大原集会所	<p>完成から100年近く経った第一跨線橋を撤去するという話があった際、何回も足を運んでプレゼンを聞かせていただきました。技術職の方は優秀な方が多く、お話も非常にうまくまとめられていました。跨線橋の話は見事にまとめられましたが、JR芦屋駅南地区の開発については、難航されていると思います。ぜひ早く解決し、まとめていただきたいです。</p>	<p>JR芦屋駅南地区の開発について、ご不安な思いを抱いている方もいらっしゃると思います。現状を少しご説明しますと、特定建築者という工事をする業者を選定しているところです。これについては昨年も行っていましたが、工事費等がどんどん上がり予算が合わず、辞退となってしまいました。今回、改めて4月に募集を開始し、8月末には業者を選定する予定です。順調に選定となれば、その後は徐々に進んでいくことになります。選定中のため、詳細はお伝えできませんが、順調に動いていると思っています。</p>
5	8月17日(土) 大原集会所	<p>フレイル対策として、合間を見て介護予防センターにて無料で運動させていただいています。介護の環境が非常に充実していると思います。ありがとうございます。</p>	<p>ありがとうございます。</p>
6	8月17日(土) 大原集会所	<p>人口減少が進む状況で、市役所の職員数についてどのようにお考えでしょうか。他の同一程度の市町村に比べ、給料の基準はほぼ一緒ですが、総額が他市町村より高くなっています。国家公務員に比べても高い現状について、どのように対応を考えておられますか。人口が減るということは、議員数も減らさなければいけないと思いますが、どのようにお考えなのでしょうか。</p>	<p>昨年度の決算が毎年9月に出るのですが、芦屋市の財政状況は、ここ数年黒字が続いています。黒字の主な理由は、JR芦屋駅南地区再開発の遅れによる余剰金があったためですが、それ以外の部分を見ても、単年度で黒字で進んでいます。今後は人口減少に伴い税収が減少し、また老朽化したインフラの更新費用がかかるため、財政状況は厳しくなると予想しています。職員数は減少傾向ですが、特徴がありまして、保育園や幼稚園、また給食の調理師など、他の自治体と比べ教育施設に多くの職員を配置していますので、いわゆる市役所に勤務する職員数は数字で見ると少ない傾向にあります。人口減少があっても仕事量は減りませんので、少ない職員数で業務を遂行するために、DXを推進したり、民間事業者の力を借りたりと工夫しながら試行錯誤しているところです。</p> <p>給与について、給与について、ラスパイレス指数というものがあり、この指標で見ると芦屋市の給与水準が高く見えるのですが、例えば芦屋市の場合、震災後に職員採用を抑制していた影響もあり、他市と比べて職員厚生が歪になっており、指標だけで正確に捉えることは難しいところがあります。また、これまで給与改定については随時情勢をみて行っていますし、今年の4月より、国の給料表に準拠した給料表への切替えを行ったところです。</p> <p>議員数について、現在21名ですが、以前はもっと多かったそうです。議員数については議会で決めますので、我々から何か行動するのは難しいですが、今後、人口減少に伴ってそういった議論になるかもしれません。</p>

当日の主なやりとり			備考 (補足説明など)
	市民の発言	市長の発言	
7	8月17日(土) 大原集会所 阪神・淡路大震災の際、芦屋市の職員の方の多くが、市役所まで来られなかったと聞きました。つまり、芦屋市在住でない職員が非常に多いのではないかと考えています。その点についてはどのようにお考えですか。芦屋市に職員が住めば、住民税も増えて交通費も減るのでいいことだらけだと思いますが、採用についてはどうお考えでしょうか。	芦屋市在住の職員は、現在は2割ほどです。他市と比べて芦屋は市域が狭いのも影響しているかと思いますが、距離で見ると半分ほどの職員は30分圏内に住んでいます。一方で、災害時には公共交通期間が使えなかったりしますので、全員が参集できるわけではないと思います。職員をすぐ集める体制は整えています。例えば、自治会等でやってくださっている自主防災会や自治会の取組など、市民の皆さんの中でも防災はお互い備えていくことが大事だと思いますので、一緒にやっていくことができればと思っています。	
8	8月17日(土) 大原集会所 行政は市民のためのサービス機関であり、市民の生活に深く関わっています。実際に芦屋市に住んで、職員が市民感情を肌で感じていないと、「市民のために働いている」という意識が薄れてしまうと思います。職員の方も市民であれば、こちらの対応ももう少し丁寧になると思います。官舎をつくることも検討されてはどうでしょうか。	建築職や土木職などの技術職については、採用が厳しい状況で、どこの市も採用に向けて工夫しながら取組を進めているところです。官舎については、市職員のために予算をつけるとなると難しいかもしれませんが、考え方としては面白いと思います。以前、市内の大学生に市役所で働きたいか聞いたことがあるのですが、職業としては興味があっても、地元で働くには抵抗があると言われました。これは、芦屋市だからという訳ではなく、退勤後や休日であっても市民の方から声をかけられるというイメージがあるそうで、芦屋は大好きでも地元で働くのは抵抗があるそうなんです。より良いまちをつくりたいというのは、市民も職員も同じですので、一緒になって前向きに進んでいくという文化が芦屋に根づけば、市内で働いてもいいと考える大学生も増えてくると思います。この対話集会もその一歩だと思っていますので、ぜひ一緒になってやっていただければと思います。	
9	8月17日(土) 大原集会所 技術職の人材確保は全国的な課題となっており、大阪市や神戸市でも足りない中で、芦屋市に住んでもらうというのは非常に難しいと思いますし、別のアプローチが必要だと思います。単に採用を増やすだけでは解決になりません。		
10	8月17日(土) 大原集会所 教育に力をいれておられますが、それは子育て世代を増やすことを目的にしているのでしょうか、それとも教育の質を上げようとしているのでしょうか。教育の予算は、増えているようには見えません。例えば、芦屋のこどもたちはTOEICを受けたらみんな700点以上というのを一つのゴールにするならば、外部も含めて先生もたくさん採用するなどにお金をかけないといけないと思います。	質です。質が上がった結果として芦屋に移り住みたい、帰ってきたいと思ってくださる方が増えればとは思っていますが、一番の目的は、芦屋のこどもたちの教育環境をよくすることです。令和4年度から令和5年度の教育費予算を見ると、少し減っているように思われるかもしれませんが、実は大規模な校舎建て替え工事がありましたので、その分が減っているだけで、実際のソフト面の教育費は増えています。やはり、最終的にこどもと向き合う先生の意欲が一番大事だと思っていますので、そのためには、先生方の働き方改革が前提で、意欲のある先生を応援することが重要だと思っています。その一例として、新しい学びの形を自主的に勉強する先生方のチームを作っていて、外部へ見に行ったり、外部の先生を呼んできたりすることに今回予算をつけています。このような取組を通して、意欲的な先生が核となり、各学校に新しい教育の形を広げていってほしいと思っています。	
11	8月17日(土) 大原集会所 芦屋を出ている友人は皆、芦屋に帰ってくると景色がきれいでとても安心する、子育ての時には芦屋に戻ってきたいと言います。芦屋で先生をしている友人もいますが、学校時間以外のことや、昔だと家庭で教育できていたようなものまで教育現場に求められており、非常に大変だと聞いています。学校教育もですが、今後は、地域コミュニティの交流の中でこどもたちの気づきを増やすことも必要だと感じていて、芦屋は小さなまちだからこそできるのではないかと思います。		
12	8月17日(土) 大原集会所 中学生のお子さんたちが道の掃除をしていて、「綺麗にしてくれてありがとう」と声をかけました。市民がそういうこどもたちを見た時に「ありがとう」と声をかけて、地域でこどもたちを育てていければいいと思いました。	最近、小中学生と会って話した方はどれぐらいいるのでしょうか。不審者と思われるかもしれないので、声掛けが怖いと思われる方もいらっしゃると思いますが、こどもからすると、基本的に挨拶をしてもらったら嬉しいですし、そうやって皆でこどもたちを見守る環境を作るのはとても大事だと思います。芦屋はコミスクの文化があり、地域でこどもたちを育てていく文化が根づいていますが、やはり何でもかんでも、放課後のことまで先生が呼び出されるのは、なかなか厳しい現状があります。地域皆でこどもたちを見守り、育てていくことが大事だと思っています。ぜひ地域の方々もこどもたちに声をかけていただければうれしく思います。	
13	8月17日(土) 大原集会所 教育関係の仕事をしていますが、挨拶はとても重要で、挨拶ができる子は就職率も高いということは数値として出ています。挨拶は、我々大人たちが普段行うことでこどもが真似るものだと思います。エレベーターに乗った時、芦屋のお年寄りの方は皆さん、「ありがとうございます」と言って降りています。こういったところが芦屋市ならではのいいところなので、芦屋市があいさつを主眼にして、さらに我々も声かけをしていくことで、こどもたちものびのび育ちますし、他市の方がそれを見て芦屋へ行ってみようかな、住んでみようかなと思うきっかけになると思います。		

当日の主なやりとり			備考 (補足説明など)
	市民の発言	市長の発言	
14	8月17日(土) 大原集会所	ゼロカーボンシティを掲げていますが、大昔には大気中の95%を占めていた二酸化炭素が、現在は0.04%ほどになっています。これが0.02%まで減れば、植物が光合成できず、酸素が作られず我々は滅びてしまうわけですが、現在、0.04%が0.05%に増えると大騒ぎしていますが、これはどう考えたらいいでしょうか。逆に枯渇の危機にあるようにも思うのですが。	仰る通り、減り過ぎると植物が光合成できず、増え過ぎると温室効果ガスとなるのが二酸化炭素です。割合が0になると熱を保てず地球は冷え切ってしまいますし、増えすぎると暑くてどうしようもない中で、地球は絶妙なバランスを保っています。このバランスが、自然の中で保たれていればいいのですが、現在、人間が二酸化炭素や温室効果ガスを大量に放出しており、0.04%が0.05%になると、地球の気温が1.5度とか2度上がってしまい、生態系に大きな影響があります。短い期間で過度に気温が上がってしまわないよう、対応を考えている現状だと思っています。
15	8月17日(土) 大原集会所	私は長年他市に住んで、また芦屋に戻ってきていますが、緑が減り、ビルが多くなり、幹線道路のポケットパークが減っていることに驚きました。外からの目線で見ると印象が変わりますので、芦屋市内で固まるのではなく、外からの目を入れたり、芦屋市からもどんどん出ていくのも大事だと思います。	外との交流が大事なものは、本当にそのとおりですね。行政でも民間と大学と協定を結ぶなどして色々と活動していますので、引き続きそういうところは進めていきたいと思っています。
16	8月17日(土) 大原集会所	芦屋市は規模が小さいからこそその良さが残っていると思います。顔見知りになりやすいですね。市民の方は年齢関係なく、知識が豊富な方もたくさんいて、年の差も楽しめるまちだと思っています。外に目を向けるのももちろん大事ですが、内同士も仲良くして協力体制が取れば、お歳を召した方も外に出たいと思えます。とても暮らしやすいまちで大好きです。	市民の皆さんが集まることができ環境をどう作るのが大事ですね。打出教育文化センターをリニューアルしたのですが、日本庭園があり、鯉も泳いでいて、小さい子供たちが餌やりに来てくれて、みんなが集う場になっているのは私たちも嬉しく思います。公園も少しずつ新しくなっているところがあるので、色々な世代の方々が話せるような環境を作ることができればと思います。
17	8月17日(土) 大原集会所	シルバー人材センターでは、いろいろな資格を持つ方が集まっておられます。学校の先生方のサポートなどをするなら、シルバー人材センターに頼めば、かなり応援になるのではないのでしょうか。こどもたちが年上の方とお話しする機会にもなりますし、挨拶にも繋がると思います。	ありがとうございます。参考にさせていただきます。
18	8月17日(土) 大原集会所	教育の質を高めると仰っていましたが、質というのは、一体何を高めたいのでしょうか。	芦屋市は学力がとても高く、全国平均を見ると、全教科が平均以上です。一方で、幸福感や勉強へのやる気というものになると平均以下となっており、とても残念ですし、何とかしなければと思っています。私は、学力、点数よりもそちらの方が大事だと思っていますので、学びの質というのは、自分が何のために勉強しているのかを考えたり、将来やりたいことが勉強へと繋がっていると思えたり、もっと単純に言うと、勉強するのが楽しい、面白いと思って前向きに取り組めるということだと思っています。
19	8月17日(土) 大原集会所	JR芦屋駅前の歩道に鳥の糞が目立って、そこを避けて通らなければいけません。夜になれば非常に多くの鳥が帰ってきます。また、犬の散歩中におしっこや糞をさせる方がいますが、少し水をかけて終わりで、臭いや汚れも残ったままです。電柱におしっこをさせる方もいますが、何年かすれば電柱が歪んでくることもあるそうです。せっかくきれいなまちなのに嫌だと思ふことがあります。	ムクドリやハトなどの鳥の糞はたくさん落ちていますよね。それについては今年、何回か鷹を飛ばす実験をやっており、効果を検証しているところです。鷹を飛ばすと他の鳥が驚いて来なくなるという話があり、鷹の専門家をお願いをして実験しています。飼い犬の散歩時のマナーは、飼い主さんたちにきちんと啓発を続けることが大事だと思います。散歩時のマナーを大切にすると条例もありますので、引き続き啓発に努めたいと思います。
20	8月17日(土) 大原集会所	芦屋の景観に価値があることを、本日改めて知りました。私自身もそれで他市から引っ越してきました。若い市長だからこそ、日本だけでなく、世界中にとっても価値のある景観のまちがあるので、ぜひ税金を使って、世界に誇る景観の芦屋にしたいなと思います。	税金を使って、というのは難しいかもしれませんが、私も大学時代にコペンハーゲンやポートランドなどを見て回ったことがあります。行政の頑張りもあるのですが、いずれのまちも、やはり市民の皆さん自身の景観を守ろうという意識が強いと実感しました。芦屋市においても、もちろん行政も頑張りますが、市民の皆さんと一緒に進めていけたらと思っています。ありがとうございます。

当日の主なやりとり			備考 (補足説明など)
		市民の発言	市長の発言
21	8月17日(土) 大原集会所	行政と市民がお互いの理解を縮めて、一緒になって良くなるまちであればと思っています。市長もお忙しい中、対話集会をしていただいています。市議会議員も21人もいらっしゃるの、期間や地区を決めて年何回か市民と対話をして、議員が行政と市民との接点を作る機会を持っていただきたいと思っています。議員の方にとっても出身と違う町で自分の知らない芦屋を感じ、どうするかを考えていただく機会になりますし、みんなが考える地域づくりの中に、市議会議員の方々も入ってお話をされるほうが、よりいい芦屋になるのではないのでしょうか。	行政と市民の相互理解はとても大事です。市議会議員の対話集会もあっていいと思います。実際、市議会議員の方々は、年に1回議会報告会というものを、建設系の委員会、民生文化系の教育や福祉の委員会、そして総務の委員会の3つに分かれてやっていらっしゃいます。私から市議会議員の方々に対話集会をやって欲しいとは言えませんが、ぜひ議員の方々にお話しただけたらと思います。
22	8月17日(土) 大原集会所	市の方針や予算の関係で、一時は集会所を統廃合する話が出ていましたが、今もそれは生きているのでしょうか。最初に候補に挙がったのが春日集会所で、打出集会所や打出教育文化センターと一緒にしまうと聞いたことがあります。その次の候補が大原集会所で、建て替えに費用がかかるので、統廃合をしていく方針だと聞いたことがあります。集会所はもともと地域の皆さんの居場所づくりのために建てたはずで、予算がないからと統廃合していくのは、理解できません。	春日集会所とうちぶんを統廃合することに関しては完全に凍結していますが、人口減少のため税収も減りますので、集会所に限らず、学校、市役所も全部含めた公共施設を今後どう維持管理していくかは必ず考えなければいけない問題です。いずれどこかのタイミングで皆さんと話さなければいけない時期は来ると考えています。きちんと説明することが大事だと思っておりますので、できるだけ早めに情報発信をしていきたいと思っています。

当日の主なやりとり			備考 (補足説明など)
	市民の発言	市長の発言	
1	8月17日(土) オンライン	20代の転出が多いということは、就職や進学で転出されているのだと思いますが、この流れを食い止める政策が必要です。教育に投資していくことなので、教育に資する施設をぜひ芦屋に作っていただきたいと思います。芦屋は住宅都市であることは理解できますが、今後10年、20年先の工場誘致ではなく、研究施設や教育施設を誘致することで、芦屋で学んだ子どもたちが引き続き芦屋で活躍し、自己実現できる場が作れるのではないのでしょうか。これにより20代の転出を防ぐこともできますし、その魅力で市外から芦屋に流入するという流れが作れるのではないかと思います。	
2	8月17日(土) オンライン	現状は20代人口を増やすのは難しいと思いますので、逆に30代、40代が増えていることを活性化すれば、10代の子どもが増え、最終的に20代の方も増えていくと思います。	
3	8月17日(土) オンライン	20代はどうしても就職や学校の関係で芦屋市から出て行ってしまいます。出ていった後にまた戻ってきってもらうためにも、子どもたちが一番思い出に残りやすい小学校時代を芦屋で過ごしてほしいと思います。そうなれば、ターゲットとするのは30代、40代の親御さんのご家庭になると思います。その方たちにフォーカスしたまちづくりをしてはどうかと思いました。	
4	8月17日(土) オンライン	市民参画について、市も方針を持って本当にいろんな取組をされているのを拝見していますが、現状をどのように評価されていますでしょうか。またその中でどういう課題があると考えておられるのでしょうか。	市民の皆さんの参加を促すというのが、これまでずっとやってきた考え方だと思いますが、私は今、市民の皆さんと共に動くという「共動」をより進めたいと思っています。行政が用意したものに参加していただくのではなく、日頃から市民の皆さんと対話しながら、一緒に作る事が一番望ましいと思います。市役所の職員も頑張っているのは確かですし、市民の皆さんもたくさん動いて頂いていますが、施策を作る最初の段階から、より市民の皆さんを巻き込んでいく必要があると考えています。
5	8月17日(土) オンライン	芦屋のまちはきれいで魅力的ですが、収入が高い方や、全面的な支援が必要な方は暮らしやすいイメージがあるのですが、いわゆる中間層は住みにくいように感じます。芦屋の教育がよくなっても、それに伴う経済力がなければ芦屋には住めないの、皆さん市外に出してしまうのだと思います。	ご意見ありがとうございます。
6	8月17日(土) オンライン	芦屋市は、転入した際にすぐに保育を受けられるのでしょうか。保育園に入れないと親が仕事を辞めざるを得ないケースもあると思います。	いわゆる待機児童については、こどもの数と保育所の定員で見ると、芦屋全体としてはほぼ足りているのが現状です。むしろ最近は、こどもの数が減っていますので、保育所の経営の方が大変だという声も聞きます。待機児童が多くいた際に増えた保育所の経営をどう続けていくのかが今後の課題であると考えています。公立幼稚園では入園式に行っても1学年に園児が5人だけという園もあります。少子化の中、どうやって持続可能な形にしていくのかは、避けては通れない議論ですので、引き続き考えていきたいと思っています。
7	8月17日(土) オンライン	PEACEサポーター制度ですが、私の知り合いのお子さんがこの制度のおかげで喜んで学校に行くようになったと聞いています。閉鎖的だったのですが、とても明るくなりました。学校へ行くのが楽しみになっているみたいで、お友達もできていい方向に今向かっております。	芦屋の場合は学校に行きづらさを抱えた子どもたちが多く、小学校だと1.数%、中学校だと7%が不登校という状況です。学校に行くのが全てではないですが、今年からPEACEサポーターという、心のケアができる先生以外のスタッフを全ての学校に配置しています。実際に意味があったと言っていただけで嬉しいです。

当日の主なやりとり			備考 (補足説明など)
	市民の発言	市長の発言	
8	8月17日(土) オンライン	小学生の時に芦屋から他市へ引っ越したのですが、引越し先では給食に脱脂粉乳がでていたりして、芦屋の給食が素晴らしかったんだという記憶が残っています。そういう記憶があるからか、潜在的に芦屋市にはいい印象が残っており、働くようになってから帰ってきました。小さい頃の刷り込みではないですが、芦屋で魅力的な体験したこともが30代、40代になって芦屋市に戻ってくるという絵図を描けたらいいですね。給食が美味しいだけでなく、芦屋の教育が評判になることによって、それは可能だと思います。	
9	8月17日(土) オンライン	大阪から引っ越してきたのですが、芦屋で家を探すとなった時、学区があるので、行きたい学校に行くには一定のエリアに住まないといけませんよね。エリアによって物件の金額も大きく幅がありますので、家探しは大変でした。他市から人を呼び込もうと思うのであればやはり、引越し費用を補助するとか、何らかの制度があれば、芦屋市は新しく来られた人をサポートしようとしているんだと思えるのですが、それはありません。そういったところから、引越し先の選択肢から消えてしまうということもあると思います。やはり、皆に来てほしいという姿勢をもっとアピールできたらいいのではと思います。	
10	8月17日(土) オンライン	例えば、東京の会社に就職して30代で戻ってくるというケースはほとんどないと思うんですね。30代、40代の方を呼び込むのであれば、やはり近隣他市と比べて芦屋にはどういう魅力あるのかということの発信が必要だと思います。	
11	8月17日(土) オンライン	PEACEプロジェクトについて、スタートは小学校からだと思われませんが、やはり幼児期の教育は非認知能力を鍛えるため非常に重要ですので、幼稚園、小学校、中学校と一貫通貫でやるような形がいいと思います。また、ふるさと納税の話もありましたが、他市の方と芦屋市のことを話したときに、PEACEプロジェクトという言葉だけでは何のことか分からないんですよ。例えば、モンテッソーリの理念をやっています、など冠たる成功者をロールモデルとしていますというような発信をしつつ、キャッチーな言葉を使うだけで大きく見方が変わってくると思います。ふるさと納税の収入を増やすためにも必要なことだと思います。	
12	8月17日(土) オンライン	モンテッソーリの話もありましたが、やはり幼児教育が大事だと思います。ただ預かるだけの保育園より、きちんとケアをしてくれる保育園を整備することも、教育の一環だと思います。芦屋には熱心な先生がたくさんいらっしゃるのので、そこをアピールすれば、すごく魅力的にはなると思います。	
13	8月17日(土) オンライン	家賃の問題を考えると、芦屋南部に30代、40代の方が住めるような環境であるべきだと思いますが、その時に大事になってくるのが交通の便だと思います。例えば、地方だと10分間隔の市内循環バスが100円で乗れるところもあります。そこまですぐに、南部を活性化するために、何か対策を考える必要があるのではないのでしょうか。会社を経営する時にも企業理念があると思いますが、同じように芦屋の理念を明確に打ち出されてはどうでしょうか。	
		最低限の経済的支援は当然必要だと思っていますが、経済的支援で全てを解決するのではなく、やはり暮らしや教育の質で勝負をしたいと思っています。教育の質とは何かと考えた時、まず全国学力調査がありますが、学力だけを見ると芦屋市は平均を遥かに超えています。もう一つの基準として、全国学力調査とセットで行われている学習状況調査というものがありますが、芦屋市の幸福度や勉強へのやる気といったものは軒並み平均を下回っているという結果となっており、この状況は何とかしなければいけません。教育の質というと、学力に着目しがちですが、私は学びへの意欲をどうかき立てるか、引き出すかということが一番大事だと思っています。 校区をなぜ定めているのかについては、行政上の理由ではあるのですが、どれぐらいの人数が入ってくるか予測しやすいようにするためです。本来的に言えば、どの学校に行っただとしてもいい教育を受けられることが理想ですので、まさにPEACEプロジェクトや「ちよほどの学び」を通じて、全ての公立学校で質の高い教育をやっていこうと活動をしているところです。	
		モンテッソーリなど、いろんな教育メソッドがあるのですが、そういうものと我々が目指しているものは、同じ方向性を向いているのではと思っていますので、今後どうアピールするかは考えていきたいと思っています。 芦屋には市立の小学校が8つ、中学校が3つ、幼稚園が5つありますが、PEACEプロジェクトや「ちよほどの学び」は、全ての公立の学校園で質の高い教育をやっていこうと活動しているものです。PEACEサポーターなど、小中学校が先にやっている取組も多いのですが、教育大綱というビジョンも幼稚園の先生とも話をしながら作りまし、現在もそのビジョンを共有しながら進めているところです。	
		南芦屋浜の活性化については非常に大事だと思います。交通の便というところでは、公共交通が全くない地域もありますので、まずはその地域を優先してデマンド交通を検討しているところです。 企業理念の話でいえば、芦屋の場合は10年間に1回、総合計画というのを作っています。今後どのようなまちづくりをしていくかというビジョンを含めて作っているのですが、ご興味があればぜひ見ていただければと思います。「人がつながり誰もが輝く笑顔あふれる住宅都市」という大きなビジョンを描いています。住んでいる皆さんの可能性が開かれる支援をするのが、市の一番大きな仕事だと思っています。「芦屋ならできる」と思えるような、そんなまちにしていきたいのが、私が今一番大事にしたいと思っています。	

当日の主なやりとり			備考 (補足説明など)	
		市民の発言	市長の発言	
14	8月17日(土) オンライン	市内の中学校ですが、同じ芦屋内でも差を感じます。やはりきれいな学校、いい学校に入りたいですし、エリアの問題が起こっていると思います。	潮見中学校が建ったときは、潮見だけ綺麗と言われていましたので、時代の流れは難しいなと思います。潮見中学校では今年度、運動場の改修を予定しています。お声があるのはよく分かりました。ありがとうございます。	
15	8月17日(土) オンライン	芦屋は緑も多く、公園もあっていいのですが、見て綺麗というだけの自然なのか、自然と一緒に戯れることもできる自然なのかが分かりません。本当にここで遊んでいいのかと不安になりますし、結局はボール遊びをしたら駄目と言われることがあるので、わかりやすくしていただければと思います。	緑に関して、遊べるのか、見るだけなのかというところですが、遊ぶことができる自然もたくさんあります。また、ボール遊びができる公園とできない公園はあるので、もう少し分かりやすくするのも大事ですね。ご意見ありがとうございます。	
16	8月17日(土) オンライン	先日、遺骨の行き場がなく、多くが各市町村に保管されているというニュースを見ました。先日の議会では、終活支援体制の話もありましたが、国の持続可能な権利擁護支援モデルには芦屋市は参加していないとのこと。夫婦健在でも、最期にはどちらかひとりになり、色々な所に遺骨が放置されているそうです。	遺骨の件に関連して、芦屋市には霊園がありますが、あそこはお墓を建てるだけではなく、他の方々と一緒に納骨する「合葬式墓地」というお墓を別に設け、多様なニーズに対応できるようにしています。先進的な取組、他自治体からの視察も結構あるそうです。	合葬式墓地では、生前予約が可能など、多様なニーズに対応できるようにしております。
17	8月17日(土) オンライン	本日は30代から40代の話が多くありましたが、芦屋市は高齢者がたくさんいて、若い人ばかりではないと言いたいです。特に、シルバー人材センターは会員が1,200人いて、芦屋市で一番大きい企業です。能力のある方もたくさんシルバー人材センターにいらっしゃいます。いろいろと協力できると思いますので、もう少し市も活用いただければと思います。	シルバー人材センターの寺子屋のようなものに通っていた大学生の話を聞いたことがありますが、その先生がとてもよかったと話していました。芦屋には色々な経験や知恵を持つ方がたくさんいるまちだと思います。また芦屋は、阪神間で一番高齢化率が高く、ご高齢の方がたくさんいらっしゃる街です。だからこそ、環境に投資をしないといけないと思っています。何歳になっても生き生きと活躍ができて、自分が活動したいことをできるだけ応援できるような環境を整えていきたいと思っています。	
18	8月17日(土) オンライン	JR芦屋駅付近には、緑が少ない気がします。地球温暖化で毎年暑くなっており住みにくい環境になってきているんじゃないかと思ったり、もっと緑を増やしてほしいです。JR芦屋駅南には今度バスロータリーができると聞いていますが、できれば、その中心に大きな木を植えて、夏に人がひと休みできるような空間を作ってはどうか。	年々暑くなってきていますし、木陰の件を含めて緑を楽しむことは大事だと思っています。緑被率という、上から見たときどれくらい緑が覆っているかという比率があるのですが、2005年と2020年を比べると、22%から25%となっており徐々に増えている状況で、市としても緑を増やそうと努力している状況です。JR芦屋駅南のバスロータリーについてもいいアイデアをいただきましたので、参考にしたいと思います。ありがとうございました。	

当日の主なやりとり			備考 (補足説明など)
	市民の発言	市長の発言	
1	8月19日(月) 翠ヶ丘集会所 数年前から楠町の集合住宅の建築計画が始まっています。建築者から周辺住民への説明は途中で止み、市から市民への説明は少なく、延期や中止などを繰り返しています。住みよいまちづくり条例では、建築者は周辺住民と話し合いをするよう規定されていると思いますし、市議会にも一昨年請願を出し、市当局が業者と調整するという内容を含めて採択されております。条例を守る努力が必要だと思いますが、まちづくり課では守秘義務で言えないことも多いようです。また、景観についても、審議会で集合住宅南側の環境を考えた植栽をするような意見が出ているのですが、市がどう考えているのかの説明が何もありません。	まちづくり条例とは、住宅環境を維持しつつよくしていくことを掲げており、建築物をつくるときには、近隣住民の影響などを考えて、地区ごとのルールを設けています。その中で、周辺住民の皆さんへの説明をし理解してもらうようお願いしているものもあります。ただ、周辺住民の理想と、業者の理想には当然差があり、いずれにも権利はありますので、線引きが難しい状態があります。行政として線引きできるのは法律や条例によるものですが、例えば、高さの制限のような客観的なルールが定められており、業者がそれを守っている場合には、市としては許可を出さざるを得ません。ただそれだけでは周辺住民の皆さんも納得しないので、説明は尽くしてくださいというのが、行政の立てつけとなっています。最大限説明を尽くした結果、折り合わない場合、法律違反がなければ進められることになっているのは事実です。ただ、地区ごとに皆で話し合っ「自分たちの地区はこういうルールにしたい」というのを決められる制度はあり、ルールを作る際には市もサポートします。地域の皆さんと一緒にルールを作っていくことを、これからも進めていければと思っています。	
2	8月19日(月) 翠ヶ丘集会所 JR芦屋駅北側の大丸の前などは、タクシーの停車が禁止されています。禁止されていても停めてもらえたこともあります。最近警察も厳しいので停めてくれません。乗り場はあっても降り場がなく、また違法駐車も多いのでどんどんメーターが上がっていきます。タクシー降り場をつくっていただけるとたいへんありがたいです。	JR芦屋駅北側道路については、そこまで広くない道に皆さんが停車されると、バスも通れないし、歩行者も危ないため、事故が起きることを懸念し、駐停車禁止になったと聞いています。「あしや竹園」前のロータリーは降車可能な場所ですので、そこを使ってくださいということになっています。新たな降り場を作るという話をいただいたこともあるのですが、道幅が狭く、正直難しいという結論となりました。代わりにはありませんが、駅の南側にはタクシーを乗り降りできる場所や一般車の送迎場所も設ける計画ですので、北側に停車している車も分散して減ることが想定されます。完成はもう少し先ですが、そういった対策を考えております。	
3	8月19日(月) 翠ヶ丘集会所 犬のトイレ散歩について、尿をしてもお水を流したらいいと思っている方が多いように思います。尿に含まれる様々な物質が、電信柱や壁の下の部分を侵食してしまいますし、においの問題もごさいます。何か対策はお考えなのでしょうか。	犬の散歩の話は、先日の「対話集会」にもあがりました。芦屋には市民マナー条例があり、例えばたばこのポイ捨てもそうですが、マナーを皆でよくしていくことを大事にしているまちですので、啓発が大事だと思います。条例でトイレ散歩を禁止するのは難しいですが、引き続き啓発していきたいと思ます。ありがとうございます。	
4	8月19日(月) 翠ヶ丘集会所 南海トラフに対する危機感があります。阪神大震災の際には電気が使えず、日本全国の人が震災の被害を知っていたのに、被災者が被害の大きさを知ったのは夕方頃でした。芦屋はマンションも多いですし、マンション内や町内、家族のうち一人でもポータブル蓄電器を使って皆でシェアするなどができればいいと思います。能登半島地震でも避難所での電源確保が大きな問題になったと聞きました。各家庭でポータブル電源を準備するのが一番だとは思いますが、町内会単位でのポータブル電源の確保や、補助金制度の検討など、ぜひ対策を考えていただければと思います。	5月に能登に行きましたが、やはり携帯電話が使えないことが一番困ったとお聞きしました。阪神大震災の際にはスマホはありませんでしたので、そこが大きな違いだと思います。全員が充電できる設備を整えるのは、さすがに不可能かと思ますし、まずはぜひモバイルバッテリーなどの備えを個人でお願いしたいと思います。行政としては、防災倉庫の中に、蓄電池では長期間放置しておくことと放電してしまいますので、ガスボンベで発電できる機械を入れています。自主防災会等の防災訓練の機会があれば、見ていただければと思います。津波が発生した際は、とにかく43号線より北に逃げるのが大事です。ぜひ防災情報マップを見ていただければと思います。地震発生から111分で津波がきますが、2時間弱あると思っいては危険ですので、すぐに逃げてください。すぐに津波はこないで、パニックにならないのが一番大事です。北に逃げるのも1つですが、足が悪いなどで難しい場合は、上に逃げるという垂直避難もあります。芦屋にはマンションが多いので、マンションの中には一次避難施設の対象になっているところがたくさんあります。自分が住んでいないマンションでも大丈夫ですので、もし地震がきたら、どこに逃げたらいいか事前に見ていただければと思います。ありがとうございます。	
5	8月19日(月) 翠ヶ丘集会所 自主避難所は民間施設も検討されたほうがいいと思います。特に駅前だと高台になっていますし、堅固な建物などを自主避難の場所として検討されてはどうかと思います。また水道管の耐震化は進んでいると思ますが、今後また大きな地震がきた際の被害や津波による機能停止も想定したシミュレーションを行うべきではないかと思ます。		
6	8月19日(月) 翠ヶ丘集会所 山手幹線や2号線は電柱が地中化されていて、すっきりとした景観になっていますが、電線を埋める工事は今も進んでいるのでしょうか。	電柱の地中化は、実は日本トップクラスです。震災時に電柱が倒れて緊急車両が通れなかったという話がありましたので、まずは山手幹線と2号線などの国道沿いを進めています。また、芦屋川沿いについても、景観を守る意味も込めて、電線を埋める溝は全部つくり終わっています。あとは電柱を抜くだけなのですが、電線を管理している電力会社や通信会社などにも費用を負担してもらう必要があり、それを待っている状況です。一方で最近、電柱を全部抜き終わったのが、芦屋病院近くのさくら参道です。無電柱化については頑張っはいますが、100%にはまだまだ遠いというのが現状です。	本市の無電柱化率16.2%（令和7年4月時点）は公表されている政令市の無電柱化率と比べると1位となっており、芦屋市の電柱地中化の取組は日本でトップクラスの水準となっています。 【参考】 https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/chicyuka/chi_13_02.html

当日の主なやりとり			備考 (補足説明など)
	市民の発言	市長の発言	
7	8月19日(月) 翠ヶ丘集会所 JR芦屋駅北側のロータリーに時計台がありますが、昔は時間になると人形が出てきてそれをみんな見に来ていました。もう一度、復活はできないのでしょうか。もしくは、時計台を撤去し、タクシー降り場をつくることを検討されてはどうでしょうか。	時計台については、部品がもう流通しておらず、費用も相当かかるので復活は難しいという話を聞いています。時計台を撤去して芝生にすることも提案したことがあるのですが、時計台の下が地下の排気口になっているため撤去も難しいと聞いています。	
8	8月19日(月) 翠ヶ丘集会所 最近、Jアラートが鳴ることが増えています。市議会だよりに県と協議するという話があったのですが、どのように協議を進められるのでしょうか。神戸や大阪であれば、地下鉄があるので、新たに避難場所をつくる必要はないと思いますが、芦屋市はそういった場所がありません。	Jアラートに限らず、いろいろな場合に備えて市は国民保護計画というものを作成しています。ただ、全市的に訓練し、地下に逃げようといったことは、まだできていません。実際にシェルターを市内中に張り巡らせるのは難しいと考えていますので、まずは、堅牢な建物にまずは避難してくださいとなります。堅牢な建物については、県が指定し国に提出しており、ウェブサイトにも掲載がありますので、ご確認いただければと思います。	
9	8月19日(月) 翠ヶ丘集会所 市議会だよりで阪神電鉄の高架化について議題にあがっていましたが、いつ高架化されるのでしょうか。JR芦屋駅南の再開発に伴い、宮川沿いの交通量も増えると思います。そうなれば、特に南へ出る際に非常に不便になると思いますので、稲荷山線を山手幹線までつなげればいいのではないのでしょうか。またJRの高架化は検討されているのでしょうか。交通事故が少なく、安心して暮らせるまちが大切だと思いますが、何か検討されていますか。	高架化について、阪神電鉄とJRでしたら、踏切の数や交通量も多いので阪神電鉄が先だと思います。高架化には数100億かかりますので、市単独で行うのは難しく、国や県、鉄道会社も費用を負担し、完了までには長い期間がかかります。高架化の工事中は、線路を横に通さないといけませんので、線路横の土地を購入することから始めるのですが、そこが長引いているという話もあります。JRの高架化についても、稲荷山線と山手幹線を繋ぐ話も、結局は、どこまで土地を確保できるかという話です。住宅が広がり、ある程度完成された街並みになっているところでは、「立ち退いてください」というのは、正直難しいです。JR芦屋駅南側の再開発も同じことをしていますが、やはり職員が相当苦勞してやっています。一気に進めていくのは難しいことをご理解いただければと思います。	
10	8月19日(月) 翠ヶ丘集会所 30代の派遣社員の男性から、芦屋は土地が高く、スーパーなどの物価も高いため、生活しづらいと感じていると聞きました。男子高校生の話も聞きましたが、同様の意見でした。若い世代が住みづらさと感じているみたいです。	生活がしづらい、家賃が高いという話は私もよく聞きます。固定資産税も上がっていますので、芦屋市の地価も高まっています。土地を持っている方にとっては、資産の価値が高まるということになりますので、一概にどちらがいいとも言えませんが、生活のしづらさについては、考えないといけないことだと認識しています。	
11	8月19日(月) 翠ヶ丘集会所 空き家対策についてはどうお考えでしょうか。草が生い茂り、門扉も傾いた空き家も見かけます。一般的には、新しい所有者を見つけて売却されるものかと思いますが、実際には多くの放置された家が目に付きます。	空き家については、他市に比べて、全く管理されてない空き家は少ないです。見かけ上、誰も住んでいないように見えても実は管理して税金を払っている人がいれば、行政としてもその家は「管理されている」ということになります。ただし、今後空き家が増えてくる可能性はあります。現在、10年以上先を見据えた住宅の計画をつくっているところですので、その中で空き家についても引き続き考えていきたいと思っています。	
12	8月19日(月) 翠ヶ丘集会所 ふるさと納税は、少子高齢化や過疎化が進む地方自治体の財政を支えるために始まった制度だと思いますが、今は国や地方自治体、納税者、仲介業者など、関係者の欲望が絡んでしまい、本来の目的から逸れてしまっていると思います。国は「ふるさと」の定義を広げすぎ、地方自治体は魅力的な返礼品を用意して集金に走り、一方で、納税者も「お得な買い物」として捉えがちで、居住地の税金を納めなくなりました。結果として、ふるさと納税は1兆円もの巨額の金が動く「モンスター」と化してしまい、一部の自治体は大きな収税減に悩まされています。このままでは問題が深刻化するので、抜本的な改革が必要です。芦屋の返礼品もすばらしいですが、全国と比べるとなかなか難しいかと思っています。ふるさと納税を事実上の廃止に持っていくような動きをすべきだと考えています。	芦屋市のふるさと寄附額は職員の努力もあり少し増えてはいますが、それ以上に減収が増えており、「モンスター」というのは仰る通りだと思います。総務省の方とお会いした時に、制度の問題点についてお聞きしましたが、政治的部分もあり、制度自体をなくすのは相当難しいと感じました。今すぐ返礼品をなくすとか、納税先をふるさとに限定するというのは、遠い将来にあるかもしれませんが、制度自体の廃止は相当難しいと思います。芦屋市だけがやめても、外に出ていく分は減らせませんので、苦渋の決断でやっている訳です。また、大阪や神戸などの周辺自治体は損失の75%は地方交付税の措置を受けられるので、そこまで影響は大きくないそうですが、芦屋市は不交付団体で地方交付税を受け取っていないため、減収分は全額損失となっています。お友達が市外にいらっしゃったら、ぜひ芦屋のふるさと納税をおすすめしていただければと思います。	

当日の主なやりとり			備考 (補足説明など)	
	市民の発言	市長の発言		
1	8月20日(火) 西蔵集会所	交通の円滑化について、6つご提案させていただきます。1つ目は、阪神電車含めた市内の高架化で、稲荷山線がオーバーフローしているの、市内全体を高架化してはどうでしょうか。2つ目が、山手幹線の通過交通について。思い切って神戸市境から西宮市境までトンネルを掘り、芦屋を通過する車はそちら側を通ってもらい、市内交通だけにしたらどうでしょうか。3つ目が、その2つができれば、稲荷山線を御影鳴尾線の交差しているところの地下を掘って、山手幹線と接続させてはどうでしょうか。4つ目が、呉川町には臨港線と43号線との間で4本ほど連絡する道がありますが、花水木通りだけ路線バス以外の大型車両は通行禁止になっていますので、解除してはどうでしょうか。5つ目が、2号線の上宮川交差点の信号が、クランク状になっていて車がたまるので、交差点を改良して真っすぐ通してはどうでしょうか。6つ目が、43号線の緑地帯がありますが、そこを自転車道路にして、人と自転車を分けてはどうでしょうか。道が広く自転車がスピードを出して走るので、宮川小学校の子供たちの通学路の安全確保になると思います。	1つずつというより、全体の話をしたと思います。阪神電車の高架化については、神戸や西宮は既に高架化されており、芦屋でも高架化を望んでおられる方も多いと思いますが、高架化には20~30年もの長い期間がかかります。また高架化は、市、県、国と鉄道業者の4者がお金を出す仕組みになっています。現状としては、既に県下で進行中の他の高架化プロジェクトの進捗状況等について、除法交換等を行っている状況です。高架化は我々としても、常に検討の課題に入れているので、ご認識いただければと思います。	
2	8月20日(火) 西蔵集会所	阪神芦屋駅南側のにしむら珈琲の道路幅が狭いところで、大型トラックが来て避けようとしたのですが、道路が凸凹しており、足を踏み外して倒れ、転んで手について骨折してしまいました。駅前で車も歩行者も多いところですので、避けるスペースがありません。こういった訴えは、どこにすればいいのでしょうか。	市役所南館地下1階の「お困りです課」という窓口にご相談いただくのも1つの方法ですが、スマホをお持ちの方なら、LINEで芦屋市と友達になって、そこから道路の不具合や街灯の故障などを通報できます。また、道路や公園の修繕を直接依頼できる専用の電話窓口があります。広報紙にこれらの連絡先を掲載するのも良いかもしれませんね。皆さんにもこういった便利な通報方法を知ってもらい、是非活用していただきたいと思います。	
3	8月20日(火) 西蔵集会所	仕事をしている人は、平日の日中には時間の都合がつかない方も多いです。30代、40代が流入しているということなら、その方たちのケアのために、休日での窓口受付を作ってもいいのではないのでしょうか。	休日の受付については、職員の労働環境も含めて考えていかなければなりません。先ほどのLINEの活用もそうですが、市役所への来庁が難しい方でも24時間受付できるようなオンライン申請の取組を進めています。もちろん、電話の方がいい方、紙で渡した方がいい方もいらっしゃいますので、市民サービスと職員の負担軽減のバランスを取りながら取組を進めたいと思います。	
4	8月20日(火) 西蔵集会所	市民に向けて分かりやすい情報提供をしてほしいです。広報や掲示板は活用されていますが、公共交通機関などでの情報発信など、様々な方法を検討してみたいのでしょうか。SNSなどの新しい情報発信ツールも活用すれば、若い世代にも市の取り組みが伝わり、関心を持ってもらえると思います。	広報については、我々としても常に悩んでいます。「広報あしや」は見てくださっている方が多いようですが、すぐに皆さんに情報を届けることはなかなか難しいですね。今回の南海トラフ地震の臨時情報の際にも頭を悩ませました。LINE等のSNSの活用や、ホームページの充実など、様々な方法を検討していきたいと思います。	令和7年3月から、「あしや防災ポータル」の運用を開始しました。平常時にも活用できるよう、日ごろからの備えに役立つ情報として、避難所やハザードマップの情報等の芦屋市に関する防災情報や防災に役立つ情報サイト等をご確認いただけますので、是非ご活用ください。 また、災害発生時には緊急情報や避難情報、避難所の開設状況といった災害時に役立つ様々な情報を迅速に市民の皆様へ提供します。災害時にも是非ご活用ください。 <あしや防災ポータル> https://bousai-portal.city.ashiya.lg.jp/bosaiWebPublic/#TOP
5	8月20日(火) 西蔵集会所	阪神電車の高架化が20~30年かかるということですが、神戸市側、西宮市側では高架化したのになぜ芦屋市だけができていないのでしょうか。	高架化の工事は、線路を地上から高い位置に上げる工事ですが、工事中でも電車の運行を止められないため、別の線路を造る必要があり、その用地取得などが難しいという点があります。また、芦屋は小さな自治体ですので、大規模工事を複数同時に行うのが難しいということもあげられます。JR芦屋駅南の再開発事業が震災の影響で長期化したことも、高架化工事への影響がゼロではないと思います。	

当日の主なやりとり			備考 (補足説明など)
	市民の発言	市長の発言	
6	8月20日(火) 西蔵集会所 緑を大切にしているというお話がありましたが、10年ほど前は、地球温暖化や人件費の高騰などで、学校の植栽を切ってもらうのも予算がないから順番になるという話を聞きました。最近では気候も変わってきていますし、緑に対する予算も増えつつあるのでしょうか。	住宅都市である芦屋にとって、環境というものは価値の源泉です。今まさに、芦屋市が今後どういうビジョンで環境を大事にしていくかの10年計画をつくっているところです。環境施策に対する予算は、間違いなく伸びていると思いますが、人件費等の高騰もありますので、例えば草木の剪定の量というところでは、明らかに上がっているという訳ではありません。	
7	8月20日(火) 西蔵集会所 芦屋市は縦に長いまちで、阪急バスの便も減ってきていますし、南北に動くのが難しいと思います。東灘区では小型のマイクロバスを運行していますが、芦屋市でもマンションや老人ホームなどと協力して、バスを運行できる形が取れればと思います。	阪急バスの減便やルート変更があり大変だというお声は私にも届いています。理由は2つあるそうです。1つは、車やタクシーを利用する人が多く、バスの利用が伸びていないこと。もう1つは、運転手の人材不足です。バスのような大きな車両を運転するのは、特別な免許が必要ですが、バスの運転手をやろうという人が全然おらず、苦しいそうです。一方で、三条町あたりの地域はバスなどの公共交通が全く走っていない地域です。バスすらないのは確かに大変ですので、バスよりは小さいですが、デマンド型交通の実証実験を始めようとしているところです。	
8	8月20日(火) 西蔵集会所 愛媛県の伊予市ではEVの実験をしており、1人は乗ってはいますが、完全に自動運転で狭い地域を周っているそうです。企業とうまく連携して、そういった形でも実現できればいいなと思います。	伊予市ではないですが、今年の5月に石川の小松市に行ってきました。小松駅と小松空港の間を自動運転でつないでいるバスに乗ってきました。今は運転手が乗っていますが、近い将来、自動運転ができるよう実験をしているところで、技術革新を感じています。芦屋のように、狭い道路が多い地域で使えるかの問題もありますが、参考にしていきたいと思います。	
9	8月20日(火) 西蔵集会所 阪急バスの件で、水練学校の時期に市民プールまで行き2便、帰り2便の臨時便があったのですが、今年からなくなりました。その結果、帰りのバスに水練学校の生徒が多すぎて、一般客が乗れないという苦情が今年すごく出ていました。生徒が道路にずらっと並ぶため、自転車も一般客も通れないというような状態でした。何かいい考えはないでしょうか。水練学校について、芦屋市は関係しているのでしょうか。	水練学校の生徒も一般客ですし、難しい問題ですね。水練学校は市の事業ではないですが、開校式とかに呼ばれてはいますので、全く関係がない訳ではありません。近いうちに閉校式でお会いすることがあるので、少しお話ししたいと思います。	
10	8月20日(火) 西蔵集会所 空き家問題についてはどのように考えていますか。高齢者が増えてくると、必ず空き家と相続の問題が出てくると思いますが、対策はあるのでしょうか。	現在、今後住宅をどうしていくかという大きな計画を策定中で、空き家対策についてもその計画に盛り込む予定です。ただ、芦屋は他市と比べて、全く管理できてない空き家はほとんどありません。というのも、人はいないように見えても、固定資産税は払ってくださっているんです。とはいえ、今後空き家が増え続けていく可能性もありますので、戸建だけでなく、マンションも含めてしっかり対策を考えていきたいです。能登半島地震では、所有者が分からず解体できないままの家屋もあるようです。芦屋の場合、耐震基準はクリアしている建物が多いので、もしまた地震が起きてもそういったことは考えにくいとは思いますが、相続も影響してくると思いますので、法律の専門家とも話し合いながら、進めていきたいです。	
11	8月20日(火) 西蔵集会所 独居高齢者の増加は大きな社会問題だと思いますが、この地域では、2町で2,400~2,500人の町民がいるにもかかわらず、集会場が1か所しかありません。高齢者が気軽に集えるような場所づくりが足りないと思います。一方で、かつては100人近くの入園者が毎年10名前後になっている幼稚園があります。この空いている施設を活用して、高齢者が集まれる場所を設けることはできないでしょうか。芦屋全体から見ると高齢者が集える施設が不足していると思うのですが、どのようにお考えでしょうか。	人口が減ると、当然税収も減る中で、市が運営する公共施設の維持管理コストをどう賄っていくかが大きな課題となっています。今すぐ維持ができなくなるわけではありませんが、20年、30年後までどうやって維持するかは、そろそろ真剣に考えなければなりません。10年ほど前の試算では、人口の減少率と比べたときに、公共施設は相当減らさないと維持できないという計算が出ています。一方、集える場所があれば、介護や支援を必要とする方も減るという考えもありますし、人と人との繋がりをつくることはとても大事だと思っています。両立するための解決策としては、複合型といって、1つの建物を様々な用途で使っていくということがあります。また、新しく市で集会所などの施設を増やすのは相当ハードルが高いですが、民間企業や団体に集える場をつくっていただくことも1つです。社会福祉協議会さんは、市内に何か所か集える場をつくってくださっており、そこでは、高齢の方々を含め、いろんな地域の人たちが集まっていると聞いています。市の中だけでなく、民間と連携を深めていくことを、今後はもっと考えていかないといけないと思っています。	

当日の主なやりとり			備考 (補足説明など)
	市民の発言	市長の発言	
12	8月20日(火) 西蔵集会所	JR芦屋駅南の再開発の説明会に参加させていただきました。説明会の中では、駅前にはビルをつくらせず、将来ドローンなどの新しい交通手段の可能性もあるため、広場を残し将来の変動に合わせて開発することはどうかとの意見がありました。芦屋市には日本で一番厳しい景観条例があり、いろんな市町村が参考をしていると思いますが、景観を美しくするだけでなく、例えば商業地域は少し賑わいのある景観にするなど、守るだけでなく、積極的にまちをPRしていくようなビジョンがあってもいいのではないかと思います。将来景観をどのように運用していくのか教えてください。	行政だけがルールを決めるのでは不十分で、市民や事業者の皆さんと一緒に、芦屋の魅力として残すべきものと、時代に合わせて変えていくべきものを分けて考えることが大切だと思っています。景観については、芦屋の価値の根幹を成すものですので、残していくべきだと考えています。一方で、公共交通機関などはこれからの社会変化に合わせて柔軟に対応できるよう、まちづくりの中に空間的な余裕を残す方がいいと思っています。JR芦屋駅南側の計画を、ペDESTリアンデッキからもっと小さいものに変更しているのですが、それは色々な社会情勢に合わせて対応できるように考えたからです。
13	8月20日(火) 西蔵集会所	日頃、まちの色々な改善について、職員の皆さま方にご尽力いただき感謝しています。まちの課題については、まず課題を知っていただき、それからどう解決するかという、2つの段階があると思いますが、人事のローテーションが非常に短く、ある日突然担当の方が変わってしまうことがあります。それまで何度も足を運んで分かっていたことが、どこまで引き継がれているか非常に不安です。もう少しゆとりを持ったローテーションを考えていただけませんか。また、芦屋市在住の職員の方も2〜3割以下と聞きました。市外の方がまちの様々な課題を的確に把握し、課題解決できるのかということについても多少疑問が残りますので、そういった意味でも、もう少しローテーションを長くする必要があるのでないでしょうか。	市役所に勤めたいかどうかを大学生に聞いてみたことがあるのですが、芦屋は好きだけど、公務員にはなりたくないそうです。市役所はお叱りの電話が多く、スーパーの買い物中でも話しかけられていろいろ言われる、というイメージがあるそうなんです。これは職員にとっても、これから芦屋市の職員採用試験を受けたい人にとっても、いい状況とは言えません。市民も行政も、みんなで芦屋市をよりよいまちにしようという思いは同じですし、お互いに尊重し合える関係を築いていけたらいいと思っています。職員のローテーションについては、様々な理由がありますが、一つには癒着を防ぐためです。担当者だけで抱えておくのは、よくないということですね。ただ、担当者が変わった際にうまく引き継がれていないのは、本来あるべき姿ではないと思います。ローテーションを長くすれば解決するかという、そうではないと思いますが、市民の皆さんとのコミュニケーションを常日頃から取るように心がけてやっていきたいと思っています。
14	8月20日(火) 西蔵集会所	先ほどのJR芦屋駅南の再開発の説明会をYouTubeで拝見したところ、ニューヨークの図書館を参考にしたものを造りたいと仰っていて、すごくいいと思いました。芦屋を付加価値の高い都市にするという意味で、文化の香りのする、芸能やアートを自然に楽しめるような場所にしていきたいと思いました。	JR芦屋駅南3階の公益施設については、これから市民の方々と話し合って内容を詰めていくところです。文化、学びを生かしたものにできればと思っていますので、ぜひ市民ワークショップにご参加いただければと思います。
15	8月20日(火) 西蔵集会所	高齢者の活躍の場を増やすことも大切だと感じました。日本には、まだまだ現役で働ける高齢者が多くいます。人材不足の問題がありますし、行政だけでなく、企業も高齢者の能力を発掘していただき、年齢に関係なく、誰もが活躍できる「エイジフリー」な発想が重要だと思います。	高齢者の方も、元気の方が多くですよ。この1年間色々な活動を見てきて、本当に60代、70代、80代の方々がバリバリ活動してくださっていると思いますし、そういう方々が、自分のやりたいことを実現できるような環境をつくる必要があると思います。ただし、行政だけで全部やるのは難しいので、市民活動センター「リードあしや」のような場所も活用しながら、市民の皆さんが気軽に集まり、自分のやりたいことを実現できるような仕組みを市民の皆さんと協力しながら、作っていききたいと思います。
16	8月20日(火) 西蔵集会所	市の経営を税込だけでやりくりするのが普通のやり方だと思いますが、今後も税込だけでやっていくのでしょうか。それとも他にも資金繰りの手段を講じていくのでしょうか。	一つはふるさと納税含めた寄附を集めるやり方ですが、芦屋の場合、ふるさと納税がカタログショッピング化している現状を見ると、返礼品競争で勝つのは、正直難しいです。少しずつは寄附の金額が増えていますが、他のやり方がないかいろいろ考えていて、これにはお金の面と、お金には現れない面の2つがあると思っています。お金には現れない面から言うと、大学や民間企業などの団体との連携です。本来、費用がかかるところが、大学の研究の一部となることによって無償で提携してもらえたり、民間の力を活用して支出を減らしていったりという形です。お金の面としては、芦屋市は何かの時のために貯めているお金、いわゆる基金がたくさんあるのですが、実はその運用をしているんですね。単に銀行に預けるのではなく、社債を買っているんです。もちろんリスクは極限まで減らし、安定していることが見込まれるものを買っています。利子よりは利率は上がるため、昨年度は2,000万ほど入ってきています。全体からするとごくわずかな話ではありますが、これからもこういった歳入の手段は考えていきたいと思っています。一気に難しいことですので、ぜひアイデアがあれば教えてください。